

1995年(平成7年)阿嘉島臨海研究所の1年間の動き

主な利用者と研究課題等

- 1月 「イソサクラエビの生態調査」大森 信 (東京水産大学)(6・8・11・12月にも実施)
- 2月 座間味村産業祭りで阿嘉島臨海研究所の活動内容を展示紹介
- 3月 「造礁サンゴ幼生の着生機構に関する研究」Daniel E. Morse, Aileen N. C. Morse (カリフォルニア大学サンタバーバラ校): 阿嘉島臨海研究所との共同研究
- 4月 大矢正樹 (北海道大学水産学部修士課程修了)・岩尾研二 (鹿児島大学理学部修士課程修了) の2名を
研究員として採用
- 5月 「サンゴ礁のモニタリング調査」Robert van Woelk (琉球大学)(7・8月にも実施)
「造礁サンゴの炭素同位体および放射性核種濃度の分析」立田 穰 (電力中央研究所): 阿嘉島臨海研究
所との共同研究
「サンゴ礁内における富栄養化物質の動態」青木豊明 (大阪府立大学): 阿嘉島臨海研究所との共同研究
(11月にも実施)
「ケラマジカの生態調査」伊澤雅子ほか (琉球大学)(7・8・10月にも実施)
「屋嘉比島の動物相を中心とした生態系調査」ウミガメ類産卵調査: 亀崎直樹 (京都大学)・平手康市
(沖縄県水産業改良普及所)・菊川晃 (琉球大学) ほか (6・7・10月にも実施)、ヤギ類の分類調査:
岩瀬文人 (串本海中公園センター)、造礁サンゴの分布調査: 下池和幸 (阿嘉島臨海研究所)
- 6月 「造礁サンゴの石灰化に関する研究」池田 穰 (ハザマ技術研究所)
「ミドリイシ属サンゴの異種間交配実験」杉山 勉・服田昌之 (国立遺伝学研究所): 阿嘉島臨海研究所
との共同研究
「阿嘉島におけるミナミイシガメの生態調査」矢部 隆 (名古屋大学)
「プロマナワ (貝形虫) の生息調査」花井哲郎 (大阪学院大学)・田吹亮一 (琉球大学) ほか
- 7月 慶留間小中学校にて、阿嘉島臨海研究所主催の移動教室「マリンスクール」を実施
「屋嘉比島の動物相を中心とした生態系調査」ヘビ類の捕食行動: 森 哲 (京都大学)
阿嘉離島振興総合センターにて「ウミガメと慶良間」講演会を開催、講師: 亀崎直樹 (京都大学)ほか
- 8月 「アワサンゴ類の有性生殖に関する研究」波利井佐紀 (東京水産大学)
「翼足類の生態学的研究」西郷 孝 (名古屋大学)
「視察会」Yossi Loya (イスラエル国テルアビブ大学)、Eduard A. Titlyanov (ロシア科学アカデミー
海洋生物学研究所) 夫妻、Robert van Woelk (琉球大学) 夫妻、高野和則 (琉球大学熱帯生物圏研究
センター瀬底実験所)
「カイメン類に含まれる抗癌物質の研究」梅沢一夫 (慶応義塾大学)(11月にも実施)

- 9月 「ヤコウガイ稚貝の生息環境調査」渡辺利明 (沖縄県水産試験場八重山支場)
「魚類の繁殖生態研究」中園明信ほか (九州大学農学部)
「サンゴ礁の赤土汚染調査」大見謝辰夫 (沖縄県公害衛生研究所)・上原睦男ほか (沖縄環境保全研究所)
(10・12月にも実施)
「慶良間列島阿嘉島周辺の造礁サンゴ類とその有性生殖に関する生態学的研究」で林原 毅が東京水産大学より水産学博士号取得
- 10月 「造礁サンゴの石灰化に関する研究」秦 浩司 (海洋バイオテクノロジー研究所)
- 11月 「阿嘉島におけるサンゴ食貝 (シロレイシガイダマシ属2種) の棲息密度変化について」下池和幸が日本ベントス学会第9回大会 (京都) で発表
「サンゴの生態とサンゴ礁保全」林原 毅が沖縄水産研究会 (那覇) で発表
「サンゴ礁における炭素固定量の測定」山田興一ほか (東京大学)
海洋生物環境研究所 (新潟) で岩尾研二が無節サンゴモ類同定の研修

その他の主な来訪者

宇野史郎ほか (海洋科学技術センター)、平賀哲男ほか (地球環境産業技術研究所)、瀬田信哉 (自然公園園美化管理財団)、平澤甚治ほか (科学技術庁)、石田文子 (環境庁)、俣野広司 (WTC ミュージアム)、小宮山宏 (東京大学)、中原裕幸 (海洋産業研究会)、田尻慶一 (日本テトラポット)、鉄芳松 (鉄組潜水工業所)、森 美枝 (海中公園センター)

AMSL 刊行物

「みどりいし」No.6、「アムスルだより」Nos.11~16

共著論文

平手康市・下池和幸 1995. 慶良間諸島阿嘉島において確認したタイマイ *Eretmochelys imbricata* (Linnaeus) の産卵. 沖縄生物学会誌, 33: 61-63.

Wang, W., M. Omori, T. Hayashibara, K. Shimoike, M. Hatta, T. Sugiyama, and T. Fujisawa 1995. Isolation and characterization of a mini-collagen gene encoding a nematocyst capsule protein from a reef-building coral, *Acropora donei*. Gene, 152: 195-200.



「視察会」1995年8月17日、阿嘉島クシバル沖 AMSL-V 船上にて